

生きものにやさしい道づくり

ほくぶこくどう しょうどうぶつ ぼせん と く
 ~北部国道における小動物保全の取り組み~

山にすむ主な生きもの

道路の周辺でも生活しています



ヤンバルクイナ
 ● 国指定天然記念物
 ● 国内希少野生動物種
 ● 全長 約 30cm

やんばるのみにすむ飛べない鳥で、林内を歩き回って生活します。



リュウキュウヤマガメ
 ● 国指定天然記念物
 ● 甲長 最大 15cm

沖縄諸島のみにすむ陸生のガメで、溪流や林内で生活します。



イボイモリ
 ● 県指定天然記念物
 ● 全長 最大 20cm

奄美と沖縄諸島のみにすむイモリで、主に林内で生活します。

横断中に交通事故の危険があります




側溝や縁石が
行く手をはばみます



やんばるには、たくさん大切な生きものが暮らしています。

山と海を行き来する主な生きもの

夏の満月の夜に海岸で産卵します



オカヤドカリ
 ● 国指定天然記念物
 ● 体長 約 5cm

南西諸島などの山林にすむ陸生のヤドカリです。



オカガニ
 ● 甲幅 約 5cm

琉球列島などにすむ大型の陸生ガニです。


子供ガメが照明灯の明かりを海と間違えて、道路に向かう危険があります



海と砂浜を行き来する主な生きもの

親ガメは産卵のために砂浜に上陸します
 生まれた子供ガメはすぐに海に向かいます

横断中に交通事故の危険があります

アカウミガメ
 ● 甲長 約 45 ~ 100cm

国内外の熱帯~亜熱帯の海にすむウミガメです。



アオウミガメ
 ● 甲長 約 30 ~ 120cm

国内外の温帯~亜熱帯の海にすむウミガメです。

護岸や側溝、縁石が
行く手をはばみます

北部国道事務所では、道路と生きものが共存できるよう様々な取り組みを行っています。

◎ 道路と生きものが共存するための様々な取り組み

カニ・オカヤドカリ

カニさんトンネル

道路上を通らずに安全に道路を横断できます

カニ渡りネット

道路から護岸を乗り越えて海に移動できます

スロープ型側溝・カニさんトンネル・護岸スリット

側溝からトンネルを通して、スリット（溝）をつたって、安全に道路を横断できます

護岸を上り下りできます

●大宜味地区（謝名城）

●国頭地区（座津武）

リュウキュウヤマガメ・イボイモリ

スロープ付側溝

側溝から山側に、はい出すことができます

小動物パネル

山から道路に、入らないようにします

カメ標識

ドライバーへの注意を促します

スロープ型側溝

側溝から山側に、はい出すことができます

侵入防止壁

山から道路に、入らないようにします

●国頭地区（奥～辺戸、宇嘉～与那）

●恩納バイパス、恩納南バイパス

ウミガメ

ウミガメ改良照明（カッターバー、紫外線カットランプ）

砂浜を照らさないようにすることで、明るい方向に歩く性質のある仔ガメが、間違えずに海に向かえるようにします

●大宜味地区（辺土名、喜如嘉、根路銘、津波）

ソフトポール

親ガメが道路に入らないようにします

ネット+植栽

親ガメが道路に入らないようにします

段差

仔ガメが道路に入らないようにします

●大宜味地区～国頭地区

●大宜味地区（根路銘）

●国頭地区（与那）



ヤンバルクイナ

クイナトンネル

安全に道路下を横断できます (3.8kP 付近)

クイナフェンス

山から道路に、入らないようにします (2.0～5.0kP 付近)

クイナ標識・看板

ドライバーへの注意を促します

路面標示

ドライバーへの注意を促します (6.2kP、9.4kP)

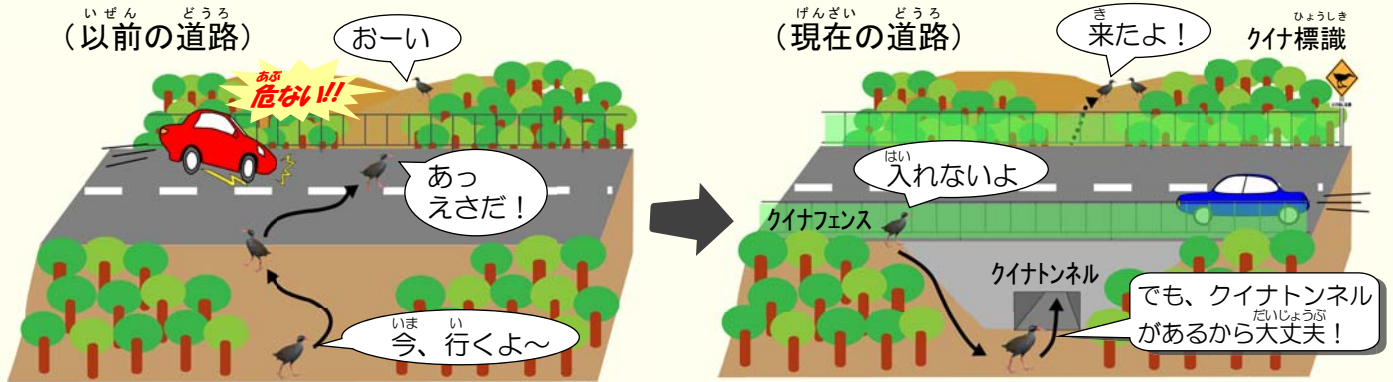
●国頭地区（奥～辺戸）

— 沖縄自動車道
— 一般国道 (北部国道管轄)
- - - 一般国道 (事業中) (北部国道管轄)
- - - 市町村界
■ 森林地域

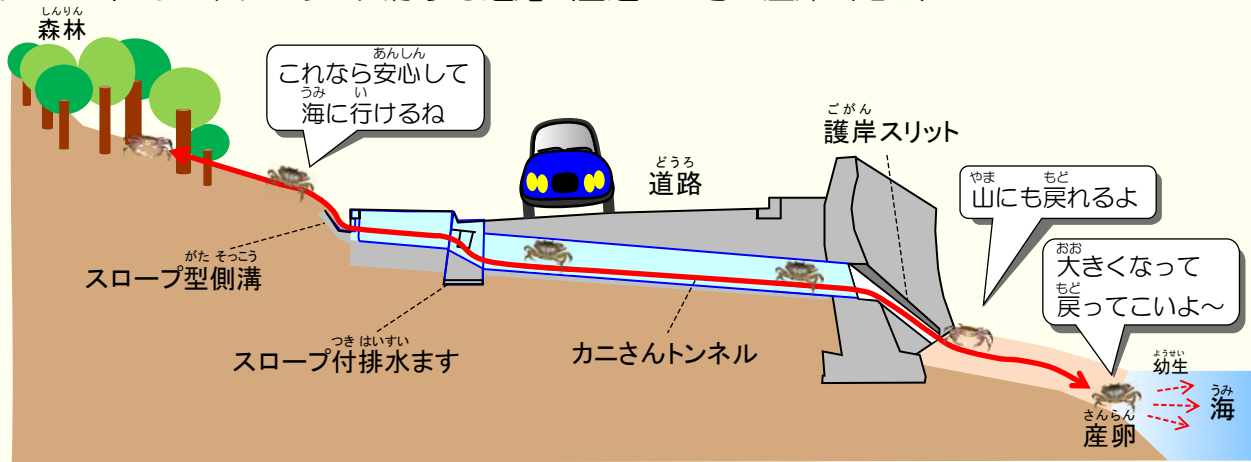
出典：国土数値情報（森林地域データ）
国土交通省

◎ 生きものと共存する道路

●ヤンバルクイナと共存する道路 (国道58号 奥～辺戸)



●オカガニ、オカヤドカリと共存する道路 (国道58号 座津武地区)



◎ 生きものを守るための地域活動

●ストップ!ロードキル運動



環境省と連携して、ヤンバルクイナのえさ場になる側溝の清掃や除草を行って、ロードキル(交通事故)を抑制しています。

●カニさんお助け隊



産卵のために海に向かうカニや、産卵を終えて山に戻るカニを捕獲し、人の手で道路を安全に渡しています。

●地域との連携



ウミガメの上映会など、地域と連携した取り組みを進めています。

◎ より生きものにやさしい道づくりを目指して

北部国道事務所では、より生きものにやさしい道づくりを進めるために、「小動物保全対策の手引き(案)」を作成しています。手引きについては、皆様に意見をいただきながら、今後もよりよい道づくりを目指します。

URL:http://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/news/2007/0802_tebiki/index.html



～運転する際に守ってもらいたいこと～



生きもの交通事故を防ぐために、ゆっくり余裕を持って、やんばる路を走りましょう!